

尾道教育総合推進計画【令和4年度～令和8年度】[概要版]

1 策定の趣旨と計画の位置付け

本計画は、「尾道市教育大綱（令和4年度～令和8年度）」（令和4年3月策定）に掲げる基本理念や目指すべき教育の方向性を具現化していくものであり、国の「第3期教育振興基本計画」や広島県の「教育に関する大綱」を参酌し、本市の教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な指針として策定します。

また、本計画は、教育基本法第17条第2項に規定される「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」として位置付けます。なお、施策の推進に当たっては、本市の最上位計画である「尾道市総合計画（平成29年度～令和8年度）」をはじめ、関連する他の計画等との整合を図りながら、教育目標の実現に努めます。

2 計画の期間と計画の推進

本計画の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

本計画に掲げた施策を推進するため、施策目標ごとに「成果指標」として目標値を設定し、取組成果の可視化を図ります。また、本計画の進行管理については、PDCAサイクル（企画→実施→評価→改善）に基づいて行い、毎年度、学識経験者の知見を活用した施策の成果の点検・評価により、改善を図りながら、さらなる教育の向上に努めていきます。

3 尾道市の教育を取り巻く現状と課題

本市では、少子高齢化が現実化しており、出生数は10年前の900人台から600人台となり、今後も少子化が進行し、小・中学校の児童生徒数は、さらに減少することが予想されます。また、高齢化の進行に伴う人生100年時代の到来により、高齢者の学ぶ環境の充実も重要な課題と言えます。

社会経済の面では、グローバル化はさらに深化し、デジタル技術など先端技術の普及により、スマートシティの構築が進められる中で、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響も加わり、教育を取り巻く環境は大きな転換点を迎えています。

また、子ども貧困問題に注目が集まっており、貧困が子どもの教育に与える影響の大きさが指摘されるほか、学校には様々な才能を持つ子どもや特別な支援を必要とする子ども、帰国した子どもや外国人の子どもなど、多様な個性や背景を持つ児童生徒が在籍していることなどから、個々の子どもの特性をみながら、多様なニーズに対応した教育の推進が求められています。

さらに、教育現場における「主体的な学び」を促進する教育活動や、信頼される学校づくり等を通じた学校・家庭・地域の協働による教育環境づくりなどを進めていくことも求められています。

4 基本理念

本市最上位計画である総合計画の教育分野のまちづくりの基本的方向や今日的な課題等を踏まえ、本市の持つ魅力を発揮できるよう、①SDGsの取組、②シビック・プライドの醸成、③社会経済情勢の急速な変化への対応、の3つの視点を加味することで、以下の基本理念を設定します。

【基本理念】

「尾道に愛着と誇りを持ち グローバルに躍動する人づくり」

また、これからの教育分野を取り巻く様々な課題に対応し、基本理念を実現していくため、学校教育分野と生涯学習分野別に以下の教育政策の柱を掲げ、具体的な取組を推進します。

●学校教育分野の教育政策の柱

「夢と志を抱きグローバル社会を生き抜く子どもの育成」

●生涯学習分野の教育政策の柱

「人生100年時代に、学び続け活躍できる人材の育成」

5 尾道教育総合推進計画の施策の展開

本計画では、教育政策の柱ごとに施策目標を掲げ、それを構成する施策を実施することで、本市教育分野の基本理念の実現を図ります。

施策の展開を示す体系は以下の通りです(8つの施策目標、20の施策、51の主な取組(略))。

教育政策の柱1 学校教育「夢と志を抱きグローバル社会を生き抜く子どもの育成」	
施策目標	施策
1 確かな学力の育成	1 幼児教育の推進
	2 「主体的な学び」を促す教育活動の推進による資質・能力の育成
	3 グローバルに活躍する人材の育成
2 豊かな心の育成	1 道徳性、人間性、学びに向かう力を高める教育の推進
	2 多様なニーズに対応した教育内容の充実
	3 児童生徒等の安全の確保
3 健やかな体の育成	1 学校や地域における子どものスポーツ機会の充実
	2 学校保健、学校給食、食育の充実
4 信頼される学校づくり	1 学校の自主性・自律性の確立
	2 特色ある学校づくりの推進
	3 教育政策推進のための基盤の整備
5 安全・安心で良好な学校施設の整備	1 学校施設の整備による質の高い教育環境の提供
	2 学校給食施設の整備による安全・安心な学校給食の提供
	3 認定こども園の整備による教育・保育環境の充実
教育政策の柱2 生涯学習「人生100年時代に、学び続け活躍できる人材の育成」	
施策目標	施策
1 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進	1 生涯にわたって学び続けるための環境づくり
	2 スポーツを楽しみ体力と健康を増進する環境づくり
2 家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進	1 家庭教育への支援
	2 学校・家庭・地域が連携した教育の推進
3 歴史・文化・芸術の継承と創造	1 芸術活動の推進
	2 誇りある歴史・文化の継承と活用

【主な取組(新規)※一部】

○スマートスクールの実現(ICTの活用)による情報活用能力の育成

- ・タブレット端末等を活用した授業改善
- ・ICT支援員の配置

○教職員の力を最大限に発揮できる環境の整備

- ・統合型校務支援システムの活用や学校・保護者間連絡システムの導入等による働き方改革の推進

○家庭・地域との連携・協働の推進

- ・コミュニティ・スクール化を推進し、地域住民や保護者が学校運営に参画しやすい環境づくり

○学校給食施設の計画的な整備

- ・ドライシステム調理場整備による中学校全員給食の実施

○リカレント教育の推進

- ・ライフスタイルの変化や市民ニーズに応じた学びの充実

○ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・多様性のあるスポーツに親しむ環境づくり

○スポーツ施設の充実と活用

- ・インターネット予約システムの導入

○学校・家庭・地域の連携の促進

- ・コミュニティ・スクール化の推進 <<再掲>>